

令和2年度 第5回千城台地区学校跡施設利活用検討委員会 議事概要

1 開催日時 令和2年11月19日(木) 19:00～20:40

2 開催場所 千城台公民館 2階 ホール

3 出席者

(1) 委員 (13名)

角田会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
谷野副会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
松本副会長 (千葉市第24地区町内自治会連絡協議会)
黒宮委員 (千城台東町自治会)
多田委員 (千城台南町自治会)
太田委員 (千城台西町自治会)
白鳥委員 (千城台北一丁目自治会)
宇山委員 (千葉市社会福祉協議会 千城台東南・金親地区部会)
菊次委員 (千葉市社会福祉協議会 御成台・千城台西北地区部会)
村田委員 (千城台南中学校区青少年育成委員会)
星野委員 (千城台西中学校区青少年育成委員会)
室谷委員 (千葉市第408地区民生委員児童委員協議会会長)
飯島委員 (千葉市第409地区民生委員児童委員協議会会長)

(2) 千葉市

志保澤資産経営課長、平山課長補佐、細野主査、関口主任主事

4 決議(千城台公民館について)

5 若葉図書館等について

6 今後の進め方について

7 議事の概要

(1) 開会

事務局 資料の確認、新型コロナウイルス感染症対策(体調の確認、マスクの着用、換気の励行など)、議事概要の作成・HP公表、記録用の録音について説明の後、進行を角田会長にお願いした。

角田会長 本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。
只今から、第5回千城台学校跡施設利活用検討委員会を開催いたします。
本日、谷口副会長がご都合により欠席すると事前に連絡が入っております。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議の時間を短縮して、20時40分までには、皆さま、この部屋から退室できるよう

にしたいと考えておりますので、ご協力ください。

新型コロナウイルスについては、全国的にも一日あたり感染者数の最大数の更新が続くなど増加傾向であり、千葉市内でもクラスターが発生するなど増加し、若葉区内でも感染者が引き続き発生している状況です。皆さま、くれぐれもご注意をお願いいたします。

それでは、次第に沿って進行していきます。

(2) 決 議 (千城台公民館について)

角田会長

はじめに、「決議」となります。

前回の委員会にて、千城台公民館を千城台南小学校跡地へ移転することについては、今回、決議をとることとしておりましたので、早速決議をとりたいと思います。

机上に投票用紙をお配りしています。投票用紙には、「賛成」、「反対」、「会長に一任」と記載しておりますので、該当するものに○をつけて投票してください。記入が終わりましたら、事務局にて回収し、私が開票します。

なお、欠席された委員については、事前に事務局がご意見を頂戴しておりますので、回収の後、それを加算したいと思います。

白鳥委員

無記名での投票となっているが、それぞれ皆さま背負っているものがあると思うので、記名でよいのではないですか。

角田会長

委員間で今後の進め方を確認した際、無記名での書面による投票と話をさせて頂きましたが、改めて、記名するという事について、ご意見はございますか。

黒宮委員

無記名ということで話したと記憶している。

宇山委員

この委員会としての決議をとるので、誰がどのように回答したということまでは問うことではないと思います。このまま、無記名で投票を実施してよいと思います。

角田会長

他にご意見ございますか。
白鳥委員いかがですか。

白鳥委員

皆さんにお任せします。

角田会長

他にご意見ございますか。なければ、無記名での投票とすることについて、委員の皆さまいかがですか。

委員 了承

角田会長

では、無記名にて投票を行います。

(委員が記入 → 事務局による回収 → 会長による開票)

開票の結果、「賛成」11票、「反対」1票、「会長に一任」1票、「会長に一任」は賛成として取扱いますので、賛成多数となりました。

よって、回答書を作成するにあたっては、千城台公民館の南小跡地への移転について賛成を前提とすることとします。

委員の皆様、ありがとうございました。

(3) 若葉図書館等について

角田会長

続いて、「若葉図書館について」です。

この検討委員会も、今回で5回目となり、これまで、多くの意見交換を行い、多くのご意見も頂いております。

その中で、本日の会議の冒頭でもお話しさせていただきましたが、新型コロナウイルスの感染が再び増加している状況でもあります。この会議については、なるべく皆さまにお集まり頂いた上で議論を行いたいと、感染予防対策に留意しながら開催してきていますが、今後、緊急事態宣言のようなものが出された場合、会議の開催が難しくなることが考えられます。

また、市の予算の関係では、遅くとも年内に回答をまとめないと、学校跡施設整備に関係する来年度の予算対応が難しくなる状況にあります。

そこで、私としては、検討委員会としての議論を進め、まとめたく、前回の委員会後、若葉図書館について、私なりに考えを整理してみましたので、ここでお時間を頂き、皆さんにお伝えしたいと思います。

当初、市からは、老朽化した若葉図書館を南小跡地に移転する活用素案が示されました。そこで、現在地に建替えて存続させた場合などと比較して、地域の利便性や、移転後の用地の扱いなどについて、この利活用検討委員会で4回にわたり議論してまいりました。

また、前回は、将来の千葉市の図書館イメージがよくわからないので、一度、専門家からの話が聞きたいということで、中央図書館長から話を聞く機会を設け、館長から「千葉市図書館ビジョン2040」について皆さんの前で説明していただきました。

その結果、移転するにしても、現在地で建替えるにしても将来の図書館像として、今と同じように紙の書籍を貸し出す箱モノが必要なのか、それは20年後の市が示したビジョンと一致するのか、時代の変化にあっているのかなど、今まで以上に深く突っ込んだ議論が交わされましたが、結論には至っていません。それどころか、本来、市が考えることまで踏み込んでしまったので、このままでは、いつまでもまとまらないと思いました。

そこで、私としては、この検討委員会の役割が、学校跡地の活用素案につ

いて、市に回答することと、それに関連した我々の意見を述べることであるという観点から、図書館を南小跡地に移転する案については、全面的に賛成とは言えないが、中央図書館長の話にあったように、図書館と公民館が一体となることで、生涯学習という面から相乗効果が発揮されるならば、千城台コミュニティセンターにも図書の貸し出し機能を設置し、生涯学習との相乗効果を発揮するとともに、現在の利便性を維持するよう市へ意見を提出することで、了承してはどうかと思っています。

また、現在の図書館、公民館がある土地についても売却しないように意見を提出するつもりです。

さらに、今後、新図書館を設置する際には、我々だけではなく、広く若葉区民にも図書館側から説明して、理解を得ながら進めていただきたいということも意見として付け加えようと考えています。

つきましては、委員の皆様にお伺いします。

若葉図書館の移転について、本日、決議をとりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

宇山委員 改めて確認しますが、結論はいつまでに出さなければならないのですか。

角田会長 来年度、市の予算に反映してもらうためには、遅くとも年内に回答をまとめないといけない。今回決議をとり、市への回答書のまとめに移りたいと考えています。

白鳥委員 若葉図書館については、若葉区全体の図書館であり、この千城台地区で議論することの範疇を超えていると思いますので、若葉図書館については判断しかねるという回答をするというのはいかがでしょうか。

太田委員 私も同意見です。前回、中央図書館長さんから図書館は生涯学習の場というお話があったが、図書館というのは、地域資料のデジタル化やアーカイブとしての役割があるので、生涯学習という点だけの議論は本末転倒と感じている。図書館を利用している方々の意見を聞きながら進めるべきであり、この検討委員会では意見・要望を出すとしても、結論については市にお返しするというのでいかがですか。

菊次委員 私も同意見です。公民館と図書館との相乗効果ということが、私には具体的なイメージが伝わりませんでした。ですので、相乗効果ということで移転ということは理解できないし、そもそも、若葉図書館を議論することは、この検討委員会で議論することとしては、大きすぎる問題だと思えます。この検討委員会で決めてしまったよということは、若葉区民に対して申し訳ない。

- 黒宮委員 この検討委員会は、図書館の内容をどうするかではなく、すでに学校が廃校となることは決まっています、その学校跡施設の利活用の素案について市から提示されている。私は、この検討委員会として、しっかりと回答するものだと認識している。
- 白鳥委員 若葉区の中核館である若葉図書館が入っている以上、この検討委員会の範疇を超えるものだと思います。
- 黒宮委員 あくまで、学校の跡地をどのように使うかという話であるので、この検討委員会で、まず、話をするのだと考えている。
- 太田委員 事務局の方に確認したいのですが、決議をするとして、この検討委員会で賛成であったり、反対であったり、はたまた、決議をしないことになった場合、どのように対応するのですか。
- 事務局 検討委員会の皆さんが、「賛成」や「反対」又は意見としてまとめず市に委ねるとして、その結果を持ち帰って、報告をします。この検討委員会の皆さまには、図書館の具体的な内容までの議論を求めているものではないです。
- 室谷委員 市からの案ということで、経済性という視点も含まれているかと思えます。そうした点では、南小に移って、公民館と図書館と一緒に作った方が、経済性としてはよいと思います。ただ、中央図書館長さんは相乗効果とお話しになっていましたが、人が集まるという意味ではあるかもしれないと思いますが、それ以上に公民館と図書館が一緒になっている相乗効果という点は、前回の説明ではわかりませんでしたし、今の若葉図書館と千城台公民館に相乗効果があるとは思えません。
- 千城台に住む人間として言わせてもらえば、千城台はモノレール駅を中心に、図書館やコミュニティセンターがあります。やはり、モノレール駅に近いこの場所に、図書館はあって欲しいと思っています。
- 図書館のデジタル化などについては、この検討委員会でも話題になりましたし、国の方でも図書館の蔵書の電子データを利用者に送る取組みが進められていると報道があり図書館の機能自体も変わっていくとは思いますが、将来的には図書館はどこにあっても変わらない時代がくるかもしれませんが、地域のコミュニティと考えた時は、情緒的な考えではありますが、図書館は、ここにあって欲しいと私は思っています。
- 角田会長 私も千城台に住む人間ですし、他の委員の方も千城台に住む人間です。その中でも、図書館はモノレールの近くにあった方がよいという意見の方もいらっしゃいますし、公民館と図書館は一緒になって、南小の跡地に建替え

た方がよいという意見の方もいらっしゃいます。

若葉図書館に関する議論については、一通り皆さまご発言頂いて、意見は出そろっていると思われまます。また、これまでの議論が繰り返しになっているように思われまますが、いかがでしょうか。

黒宮委員 私もそのように思いまます。

太田委員 さきほどの図書館の蔵書の電子データ化や利用については、まだ決まっただものではないと思いまますが、図書館の電子化については、大きな流れはできていると思いまます。中央図書館長のお話でも、将来は図書館という箱モノはいらなくなるというお話でした。ただ、利便性という意味では、モノレールの近くにあった方がよいと思いまます。

角田会長 それについては、若葉図書館が南小跡地にいったとしても、現在地の周辺にも図書館の貸し出し機能を設置して欲しいという要望を市へ出したいとお話していまます。

菊次委員 私は、活用素案への意見募集結果の31件中、現在地がよいという意見が多かったことを重視した方がよいと考えていまますので、若葉図書館が南小跡地に行くことは納得していません。

角田会長 一方で、賛成している意見もある。この検討委員会の委員でも意見が割れている状況です。

村田委員 色々なご意見があるとは思いまますが、今般の活用素案は、学校跡施設ができるからこそ、市から提示されたものだと思います。また、この検討委員会は学校跡施設の利活用について意見を言うものなので、南小跡地の利活用の方向性について意見を出すことはできるとしても、若葉図書館としての利活用に反対する又は意見を出さないとした場合、現在地で建替えるということまでは、この検討委員会の範疇ではなく、そこまでの意見は言えないと思いまます。若葉図書館については、区の図書館であると話が出ていまますが、今回のタイミングを逃して、再検討となったしまった場合、将来的に、この千城台地区にある必要性から再検討となってしまうのではないのでしょうか。それなので、私としては、今回、若葉図書館を南小跡地へ移転・建替えするという案に対しては、賛成として、それを前提とした利活用に対しての意見を出した方が、よいものができると思いまます。

宇山委員 議論が検討委員会とは何かというスタートに戻ってしまっている。この検討委員会は、市から提示された学校跡地の利活用の方向性について議論、意見を出すところであり、図書館がどのようになるかまでは、別で議論され

るべきことだと思います。

菊次委員 そもそも市の活用素案が出てきて、初めて若葉図書館の移転・建替えについて聞いたので驚いている。

太田委員 5月に活用素案と意見募集の実施について、市から資料提供があり、各町内自治会に回覧したところから始まっている。

宇山委員 今、将来の図書館がどうなるのか、前回の跡地について何らかの確約が欲しいというお話しは、この検討委員会とは別で議論されるべきです。

多田委員 この検討は多くの時間と費用がかかっている。どのような施設が整備されるのか最終的な利活用のイメージまではわからないが、活用素案の考え方については納得できる。今、この方向性で決めなければ、せっかくのタイミングを失ってしまうのではないか。

松本副会長 実際に、今の公民館の1階のフロアでは図書館にも塾にも行っていない子ども達が集まって、勉強をしたりしている様子を見ている。子ども達には、今と同じような使い方、環境を提供したいという思いから、公民館と図書館は、一緒にしてもらいたいという想いです。この検討委員会の委員としても民生委員としても、これからの未来を担う子どもたちに、同じように使える場所を提供していきたいと思っています。

飯島委員 松本副会長の意見に私も賛成です。公民館や図書館は高齢者や子どもにも配慮したものとなってもらいたいと思います。

星野委員 皆さんの意見を伺っていると、1人1人ごもつともな意見と感じています。その上で、どのように整理するかが大事だと思います。

私としては、公民館が南小跡地に行くことが決まった今、行政としては、公民館と図書館は、同じ教育委員会が管理運営しているものと思いますので、そういった意味合いでも、公民館と図書館は切り離さずに、一体として整備した方がよいと考えています。

角田会長 改めましてお伺いたしますが、若葉図書館の移転について、本日、決議をとりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

黒宮委員 すでに議論が繰り返しになっているし、決議はするものと検討委員会が始まる際に決めたことである。

宇山委員 この検討委員会を5回も開催して議論を行っている。決議をとらないと

意味がなくなってしまう。

角田会長 他にご意見ございますか。決議をとることではいかがでしょうか。

委員 了承

角田会長 では、さきほどの公民館と同様に無記名の投票にて行います。なお、欠席された委員については、事前に事務局がご意見を頂戴しておりますので、回収の後、それを加算したいと思います。

(投票用紙配布 → 委員が記入 → 事務局による回収 → 会長による開票)

開票の結果、「賛成」6票、「反対」5票、「会長に一任」2票、「会長に一任」は賛成として取扱いますので、賛成多数となりました。

よって、回答書を作成するにあたっては、若葉図書館の南小跡地への移転について賛成を前提とすることとします。

委員の皆様、ありがとうございました。

(4) 今後の進め方について

角田会長 今後は、市の活用素案について、賛成を前提としつつ、これまで公開で行ってきた会議における議論を振り返りながら、今後の利活用についての意見や要望を検討委員会としてまとめて、回答書と要望事項をとりまとめていきたいと思います。

回答書については、会長である私の名前で記載するか、委員皆さまのお名前を連名で記載することが考えられますが、いかがでしょうか。

宇山委員 「千城台地区学校跡施設利活用検討委員会」と書いてあるから、皆さんの名前を個別に書き連ねなくても、会長だけのお名前でもよろしいと思います。

角田会長 他にご意見ございますが。
では、会長としての私の名前でもよろしいでしょうか。

委員 了承

角田会長 また、今後の会議ですが、活用素案への回答の方向性はまとまったことや、あとは、これまでの議論を振り返りながら回答書の体裁を整えることだけです。新型コロナウイルスの感染が広がってきている状況でもありますので、傍聴を入れた公開とせず、委員間で調整を図りたいと思いますがいかがでしょうか。

黒宮委員

最終的な回答書が公開されれば、それでよいと思います。

角田会長

他にご意見ございますか。

それでは、市への回答書については、私の名前でとりまとめるとともに、今後、委員間で内容を調整し、市への提出は私で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員

了承

角田会長

それでは、以上で本日の会議は終了いたします。また、事務局においては、議事概要の作成と市ホームページでの公開をお願いします。

以上、皆さま、本日はおつかれさまでした。